

平成28年度青森県立郷土館企画展



空を飛ぶ哺乳類！

超音波を効率的に利用！



幸福を呼ぶ縁起のよい動物？



ウサギコウモリ

向山満コレクション

コウモリの不思議

会期 平成28年5月20日(金)～7月3日(日)

会場 青森県立郷土館特別展示室(大ホール)

開館時間 午前9時～午後6時(期間中は無休)

観覧料 一般 310円(250円) 高校・大学生 150円(120円)

※()内は20人以上の団体料金。中学生以下は無料。
障がいのある方、老人福祉施設に入所の方は観覧料免除。
上記観覧料で常設展示もご覧になれます。

記念講演 6月18日(土)午後1時30分～3時 当館小ホール
「コウモリ先生を語る」(当館学芸員) ※入場無料

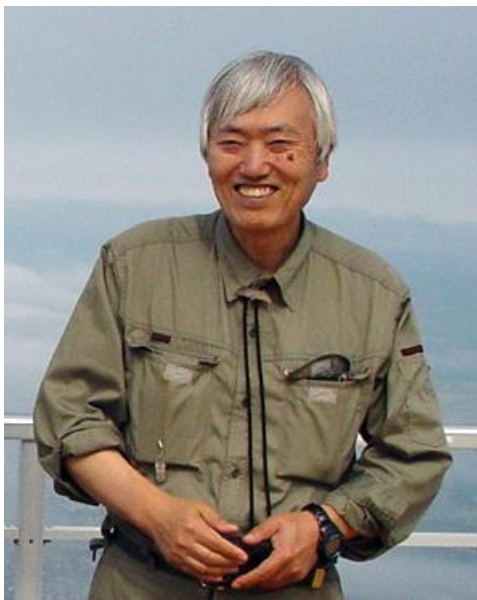


主催 青森県立郷土館 共催 東奥日報社
後援 青森自然誌研究会 特定非営利活動法人コウモリの保護を考える会

コウモリの不思議

コウモリ研究者として著名な向山満氏は、弘前大学文理学部卒業後、青森県立三戸高等学校に定年退職するまで勤務し、同校自然科学部の顧問として生徒と共に自然誌解明に取り組みました。また、七戸町天間林の天間館神社のヒナコウモリを、蝙蝠小舎へ移住させた成功例は世界的に知られ、その後の各地のコウモリ類の保護活動に先鞭を付しました。これらの向山氏の業績は、国内のみならず国外からも高く評価されています。

向山氏は、平成24年11月18日に不慮の事故で他界されましたが、国内外のコウモリを中心に収集した標本や研究資料、蔵書・写真等の大変貴重な資料は、一括してご家族から当館に寄贈されました。本展では、この資料を基に「自然の代弁者」だった向山氏の業績を振り返ります。



向山 満 (むこうやま みつる) 氏



現在の七戸町天間館神社の蝙蝠小舎

展示構成

- 1 向山満の履歴紹介
- 2 向山満の調査研究と教育活動を紹介
コウモリを中心とした動物標本と写真パネルを展示
- 3 向山満が収集したコウモリ資料の紹介
コウモリが描かれた掛軸や絵皿、硯などを展示
- 4 向山満の業績のまとめ



線香立て



硯と硯蓋



絵皿

アクセス

- JR青森駅より徒歩約20分
- 市営バス
(国道経由) 市役所前又はNTT青森支店前下車 徒歩約8分
(新町経由) 新町二丁目下車 徒歩約8分
- 市民バス
(青柳線) ワシントンホテル前又は本町五丁目下車 徒歩約1分
- 駐車場 乗用車約40台可 (無料)